

救急情報シートの使い方

目的

急病で119番通報をしたけれど、救急隊が到着したときには本人が意識を失ってしまっていたような場合に、冷蔵庫扉に貼り付けられている救急情報マグネットにより冷蔵庫内にある情報シートを確認し、緊急時の連絡先への連絡や、持病や服薬、かかりつけの医療機関の情報を搬送先に伝達するなど、救急・医療活動を迅速に行うために役立てます。

準備

① 準備

〈市、各地域包括支援センター、各公民館などで配布〉

救急情報シート、救急情報シールが貼られたクリアファイル、救急情報マグネット

〈ご自身でご用意いただくもの〉

ペットボトル、輪ゴム、「保険証の写し」、「診察券の写し」、「薬剤情報提供書（病院や薬局でもらう薬の情報が記載されているもの）の写し」、「本人の写真」等。

作成方法

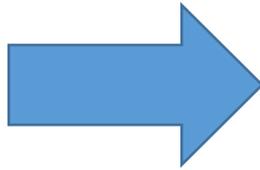
② はさむ

救急情報シートに記入します。記載内容は変更になる場合がありますので、鉛筆で記載ください。

次に、救急情報シールが貼られたクリアファイルへ書類を挟みます。シートのほかに、保険証や服薬情報など緊急時に必要な書類の写しを入れます。

③ くるむ

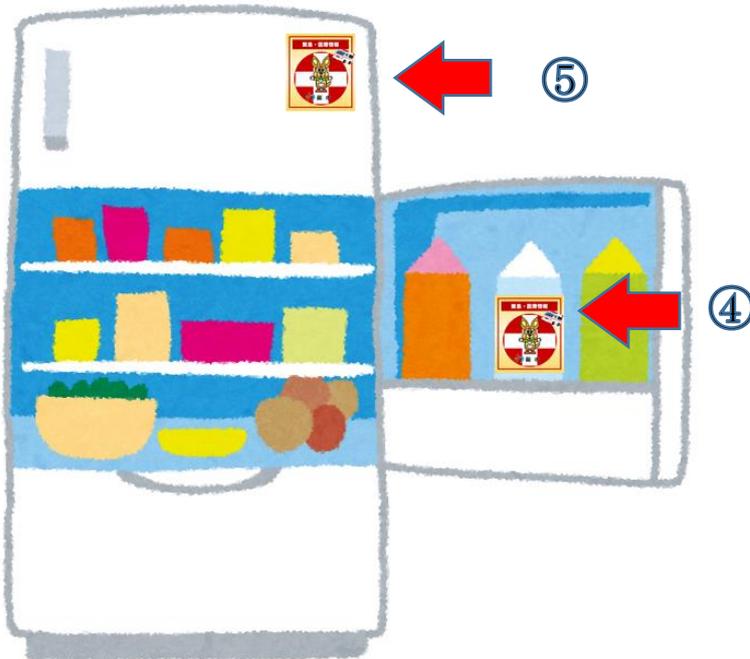
書類を挟んだクリアファイルをペットボトル等の筒状のものに巻いて、ワラビーくんが正面に見える状態で輪ゴムをとめます。



できあがったら

④ 冷蔵庫に入れる
ドアポケット等の目立つ場所に、容器を保管してください。

⑤ 救急情報マグネットを貼る



※救急情報シートはかかりつけ医療機関に搬送することを保障するものではありません。また、救急隊への伝言が記載されている場合についても、救護活動に必要と判断された場合に使用されるものであるため、活用できない場合があります。あらかじめご了承ください。